



メンテナンスとサポートの終了ポリシー

Cisco Meeting Server、Cisco Meeting Management、Cisco ミーティングアプリケーションソフトウェア用

2021 年 2 月 10 日

目次

変更事項	3
概要	4
ソフトウェアリリース	5
ソフトウェア機能リリースのライフサイクル	7
Cisco Meeting Server のソフトウェアメンテナンス終了ポリシー	7
Cisco Meeting Management のソフトウェアメンテナンスの終了	8
Cisco ミーティングアプリケーションのソフトウェア メンテナンスの終了	9
廃止された機能	11
バージョン 3.0 のリリースの影響	12
Cisco の法的情報	13
Cisco の商標または登録商標	14

変更事項

バージョン	変更
2020 年 12 月 11 日	図 4 Cisco Meeting Management でサポートされている Cisco Meeting Server のバージョンに対する軽微な修正。
2020 年 10 月 6 日	最近のバージョンで更新された例。新しいセクション「バージョン 3.0 のリリースの影響」を追加しました
2018 年 12 月 14 日	情報が不足している注意書きへの軽微な修正。
2018 年 12 月 10 日	以前のバージョンを置き換える新しいバージョンのポリシー。EOSM 通知期間は 3 か月から 4 か月に増加しました。Cisco Meeting Server、Cisco Meeting Management、Cisco ミーティング アプリケーションにポリシーを適用する方法についてのより明確な説明。
2018 年 5 月 24 日	ポリシーの最初のリリース。

概要

このドキュメントでは、Cisco Meeting Server、Cisco Meeting Management、Cisco ミーティング アプリケーション ソフトウェアの時間ベースのリリースモデルについて説明します。リリース年齢とソフトウェア メンテナンス ポリシーの間のリンクなど、一般的な質問に回答します。

注： Cisco Meeting Server ソフトウェアバージョン 3.0.x は Cisco ミーティング アプリケーション バージョン 1.11.x 以前をサポートしません。詳細については、12 ページの「バージョン 3.0 のリリースの影響」を参照してください。

ソフトウェアリリース

Cisco Meeting Server、Cisco Meeting Management、Cisco ミーティング アプリケーションなどのソフトウェア アプリケーションには、3 種類のソフトウェアリリースがあります。提供内容の範囲とリリース頻度はリリース タイプごとに異なります。2 つのタイプは、時間ベースのフルコードリリースであり、3 つ目は非同期ソフトウェアパッチを導入するメカニズムです。これらのソフトウェアリリースは、リリースバージョン番号の X.Y.Z 形式に続き、新しいリリースには 1 桁目 (X) または 2 桁目 (Y) の変更を示し、メンテナンスリリースは 3 桁目 (Z) の数字に変更を示します。

ソフトウェアリリースは、次の 1 つ以上の理由で提供されます。

- X への変更が発生する可能性が高い例：アーキテクチャの変更など、ソフトウェア全体に大幅な変更を導入します。
- Y への変更が発生する可能性が高い例：新しい機能
- Z に変更が発生する可能性が高い例：バグ修正とセキュリティパッチ

Xレベルでのリリースは頻繁ではなく、このレベルでのリリースからリリースまでに数年かかる場合があります。

Yレベルの機能リリースは、約 4 か月ごとに配信されます。シスコは将来的にこのリリース間隔の頻度を変更する可能性があります。シスコの意図は予測可能なリリースのペースを維持することです。Zレベルのリリースは、ケースバイケースで頻繁に行われます。

リリースの 3 つのレベルすべてについて、機能リリースに追加された重要なバグ修正と機能のリストは、インストール手順と依存関係とともにリリースノートに記載されています。メンテナンスリリースは、サポートされている機能リリースの累積的リリースです。リリース時点で、最新のメンテナンスリリースは、機能リリースの導入以降に公開されたすべての重要な修正を含んでいます。シスコでは、すべての Cisco Meeting Server/Cisco Meeting Management /Cisco ミーティング アプリケーション ソフトウェアのお客様に対し、最も簡単な都合の良い時期に最新のメンテナンスリリースに能動的に移行することを推奨しています。メンテナンスリリースで修正済みバグが発生した場合、シスコのサポートガイドラインは、最新の利用可能なメンテナンスリリースへのアップグレードを推奨することです。

シスコは、Cisco.com にリリースノートを掲載することで、新しい機能リリースを通知します。ソフトウェアイメージは、Cisco.com Software Center でダウンロードできます。ソフトウェアをダウンロードするにはサポート契約が必要で、機能によってはライセンスの追加購入が必要な場合がありますのでご注意ください。

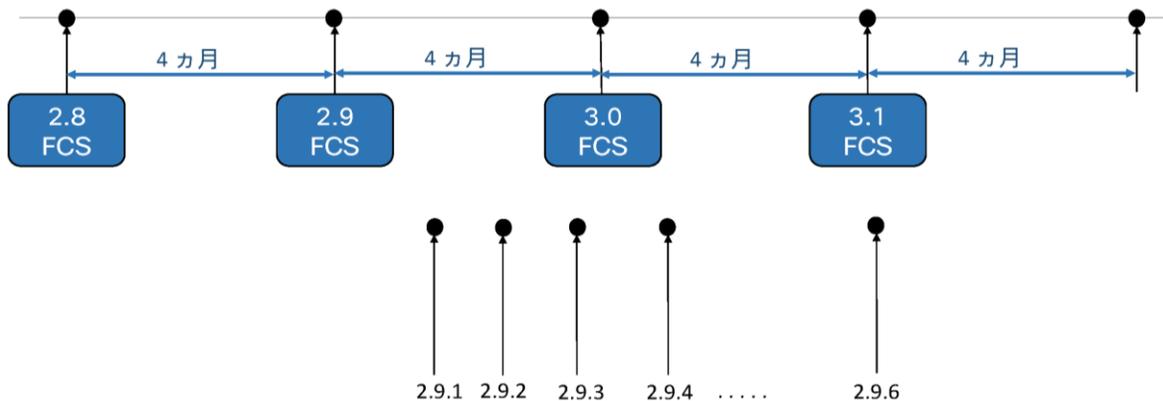
ミーティングアプリケーションで新しいメジャーバージョン (例：3.5 から 4.0) がリリースされた場合、シスコは 3.x の正式な販売終了 (EOSale) 通知を発表し、https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/eos-eol-policy.html で定義されている販売終了プロセスに従います。これは 3.0 の最近のリリースで発生しました。2.x の販売終了通知は、[ここ](#)をご確認ください。

注：このドキュメントを通じて、ソフトウェアリリース番号は純粋に説明の目的で使用されています。たとえば、リリース 3.5 を参照していても、シスコは 3.5 のリリースがあることを示しているわけではありません。

ソフトウェア機能リリースのライフサイクル

機能リリースが出荷 (FCS) されると、Cisco.com でダウンロード可能になり、Cisco TAC でサポートされます。上述のソフトウェア リリース セクションで説明しているとおり、シスコは必要に応じてこのリリースのメンテナンスビルド (Z レベル) をリリースします。図 1 を参照してください。

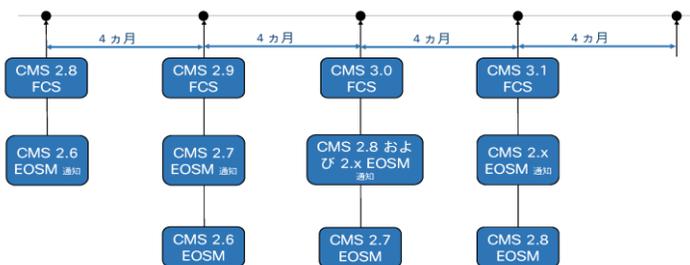
図 1: ソフトウェア リリース スケジュール



Cisco Meeting Server のソフトウェアメンテナンス終了ポリシー

Cisco Meeting Server ソフトウェアについては、Cisco は 2 つの機能リリース (Y レベル) を一度にサポートすることを約束しています。新機能のリリースが可能になったら、2 回前のリリースのビルドのソフトウェアメンテナンスの終了 (EOSM) を開始することをリリースノートで発表します。図 2 を参照してください。

図 2: Y レベルのソフトウェア機能リリースのライフサイクル



たとえば、バージョン 2.9 をリリースしたときに、2.7 EOSM のタイムラインを発表しました。シスコは、最初にバージョン 2.7 の EOSM をお客様に通知した 4 か月後に、バージョン 2.7 のメンテナンスリリースの提供を停止しました。バージョン 3.0 がリリースされると、シスコは 2.8 と [2.x](#) ブランチの EOSM のタイムラインを発表しました。

シスコは、サポートされている機能リリース内のメンテナンスビルドについて調査し、確認したバグの原因を特定しますが、必要なバグ修正は、その機能リリースの最新のメンテナンスビルドに基づきます。

新リリースの十分なお客様適格性確認時間を保証するために、FCS と EOSM の間の期間は、12 か月 (1 年) を下回らないようにします。EOSM の後に、お客様はバグ修正やセキュリティパッチを受け取るために新しいバージョンにアップグレードする必要があります。特別なケースでは、一部のリリース (連邦政府の認証を受けるリリースなど) は、新しいビルドが同等の認定を受けるまでサポートされます。

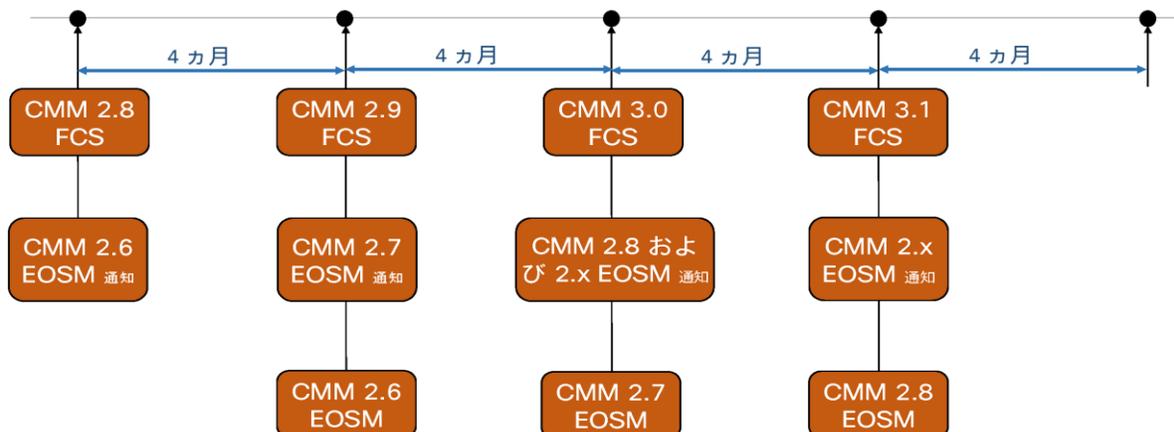
Cisco Meeting Management のソフトウェアメンテナンスの終了

Cisco Meeting Management ソフトウェアについては、シスコは一度に 2 つの機能リリース (Y レベル) をサポートすることを約束していますが、バージョン 3.0 の例外については、以下の注意事項を参照してください。新機能のリリースが可能になったら、2 回前のリリースのビルドのソフトウェアメンテナンス (EOSM) の終了を開始することをリリースノートで発表します。図 3 を参照してください。

注：バージョン 2.9 とバージョン 3.0 の間で多数の変更が行われた場合、Cisco Meeting Management 3.0 は Meeting Server 3.0 のみをサポートします。接続されている一部の Meeting Server がバージョン 2.8 または 2.9 を実行している間に Meeting Management をアップグレードすることができますが、すべての Meeting Server を完全にサポートするには、Meeting Server をバージョン 3.0 にアップグレードする必要があります。

注：Cisco Meeting Management のバージョンには、x.y.z バージョン形式にビルド番号 (ビルド 1.1.0.27 など) が続きます。

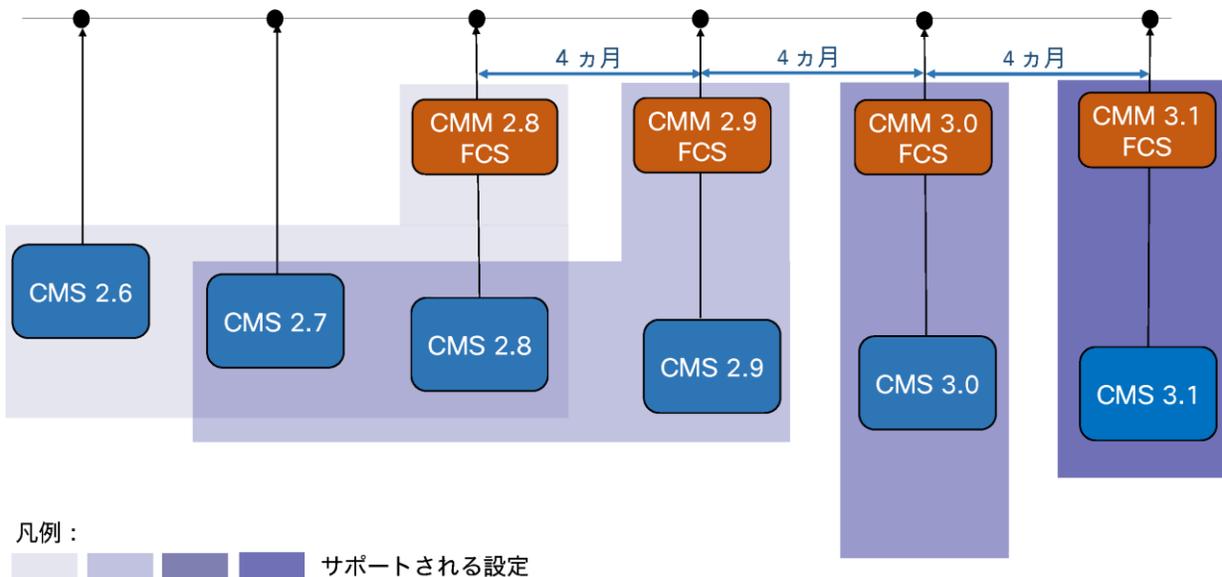
図 3 : Cisco Meeting Management の EOSM ポリシーの図



シスコでは、Cisco Meeting Server をアップグレードする前に、Cisco Meeting Management を最新のバージョンで更新して、新機能へのアクセスとCisco Meeting Management のアップグレードを確保することをお勧めしています。これにより、Cisco Meeting Server をアップグレードしながら、Cisco Meeting Management の動作の継続性が確保されます。

シスコは、お客様がアップグレードする際にリリースをスキップする可能性があることを認識しています。アップグレードプロセスを容易にするために、シスコは新しい Cisco Meeting Management リリースと Cisco Meeting Server の 2 つの以前のバージョンの相互運用性をサポートすることを目指しています。図 4 を参照してください。

図 4 : Cisco Meeting Management でサポートされている Cisco Meeting Server のバージョン

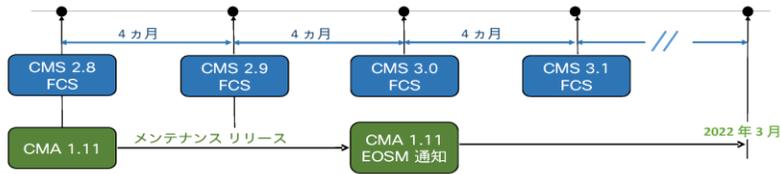


Cisco ミーティングアプリケーションのソフトウェアメンテナンスの終了

バージョン 1.11 から、Cisco Meeting App for Windows、Mac および iOS の機能は完全です。

Cisco Meeting Server バージョン 3.0 でのアーキテクチャ変更により、Cisco ミーティングアプリケーションのシッククライアント (Windows、Mac、iPhone) と Cisco Meeting WebRTC アプリは Cisco Meeting Server Web アプリに置き換えられました。Cisco Meeting Server Web アプリは、http ブラウザベースのアプリで、Meeting Server での同時にホストされるコール数を大きくすることができます。バージョン 2.9 は、Cisco Meeting アプリのシッククライアント (Windows、Mac、iPhone) および Cisco Meeting WebRTC アプリをサポートする最後のソフトウェアバージョンです。

図 5 : Cisco ミーティング アプリケーション (Windows、および Mac) の EOSM ポリシーの図



Cisco Meeting Server Web アプリは、Cisco Meeting Server ソフトウェア内の重要なコンポーネントで、Cisco Meeting Server 用の新しいソフトウェアリリースによって新機能が追加されます。Cisco Meeting Server ソフトウェアのバージョンが EOSM の場合、そのソフトウェアに含まれている Web アプリのバージョンも同じになります。

廃止された機能

Cisco Meeting Server または Cisco Meeting Management の機能がリリースから廃止される予定の場合、変更が発生する 1 リリース前にリリースノートでその機能が廃止されることを告知するように努め、廃止された場合にはリリースノートで廃止を確認します。たとえば、機能がリリース 3.5 で廃止される予定の場合、3.4 のリリースノートで事前発表され、3.5 リリースノートで確認します。

バージョン 3.0 のリリースの影響

Cisco Meeting Server バージョン 3.0.0 は 2020 年 7 月 29 日にリリースされました。このリリースはメジャーバージョンであり、2.x ソフトウェア ブランチから大幅に変更されました。

バージョン 3.0 には、次の変更点と影響があります。

- このリリースで X シリーズサーバのサポートを終了しました。バージョン 2.9 は X シリーズサーバで実行できる最後のソフトウェアバージョンです。
- XMPP サーバおよび Web ブリッジ 2 コンポーネントはソフトウェアから削除され、Web ブリッジ 3 コンポーネントに置き換えられました。そのため、Cisco Meeting アプリのシッククライアント (Windows、Mac、iPhone) と Cisco Meeting WebRTC アプリは、Cisco Meeting Server Web アプリに置き換えられます。Cisco Meeting Server Web アプリは、http ブラウザベースのアプリで、Meeting Server での同時にホストされるコール数を大きくすることができます。バージョン 2.9 は、Cisco Meeting アプリのシッククライアント (Windows、Mac、iPhone) および Cisco Meeting WebRTC アプリをサポートする最後のソフトウェアバージョンです。
- 分割展開で使用され、XMPP トラフィックがファイアウォールを通過するようにするロードバランサがソフトウェアから削除されました。
- H.323 ゲートウェイコンポーネントがソフトウェアから削除され、H.323 コールは Expressway 経由でルーティングする必要があります。
- SIP エッジコンポーネント (ベータ機能としてリリースされたのみ) がソフトウェアから削除されました。

Cisco Engineering が Cisco Meeting Server バージョン 2.9 の最終的なソフトウェア メンテナンス リリースやバグ修正をリリースする最終日は、2022 年 3 月 1 日です。これは、https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/eos-eol-policy.html で定義されているシスコのサポート終了 (EOL) プロセスに準拠しています。

リリースの変更点と新機能の完全な一覧については、Cisco Meeting Server バージョン 3.0 リリースノートを参照してください。

Cisco の法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジー図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハード コピーおよび複製されたソフト コピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新版については、現在のオンライン バージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイト (<http://www.cisco.com/web/JP/about/office/index.html>) をご覧ください。

© 2016-2020 Cisco Systems, Inc. すべての権利が予約されています。

Cisco の商標または登録商標

Cisco および Cisco のロゴは、米国およびその他の国における Cisco およびその関連会社の商標を示します。Cisco の商標の一覧については、www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1721R)